

議会推薦 富士見町農業委員

任期：平成22年4月1日～
平成25年3月31日

平 出 藤 陽 (池 袋)

北 原 はるゑ (乙 事)

五 味 弘 子 (大 平)

北 原 桂 (桜ヶ丘)

(敬称略)

リニア中央新幹線のBルートによる早期実現に関する決議

超電導磁気浮上式リニアモーターカーによる中央新幹線は、東京・名古屋・大阪間の時間距離を大幅に短縮する新たな国土の動脈であり、災害に強い国土づくりに向けた多重交通ネットワークの形成や世界的な課題となっているエネルギー問題、環境問題においても優れた特性をもつ大量高速輸送機関として期待されているところである。

もとより中央新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づき基本計画が決定された路線であり、同法に明記されている「国民経済の発展及び国民生活領域の拡大並びに地域の振興に資する」ことを目的に整備が図られるものである。

従って、このリニア中央新幹線は、単に大都市間を高速で結ぶことの便益のみならず、我が国の経済社会を支えている沿線地域である内陸部の経済・文化の発展に寄与し、国土の均衡ある基盤整備の実現に貢献できる社会基盤でなければならない。

よって、本議会は、リニア中央新幹線の建設に当たっては、国家プロジェクトの下に、Bルート（諏訪・伊那谷ルート）による早期実現を求めるものである。

以上、議決する。

平成22年3月19日

富士見町議会

—— 賛成多数で決議しました ——

条例を廃止するものです。これにより、1,000万円の財源を確保し、未満児保育の充実に充てることの説明でした。

主な反対意見

- ・「児童手当条例」は、他市町村にない、手厚い支援で、富士見町に子育て世代を呼び込むためにも続けるべき。
- ・未満児保育の充実も、町としては当然やらなければならないこと。
- ・「子ども手当」は、子育て世代への全体の底上げ。「ひとり親世帯への激励金」は福祉政策の意味合いが強く、「児童手当条例」は子育て支援政策である。今回廃止案の出ている2条例は、地方自治体が担うべき役割の「弱いところ」に予算を配分して最低限の生活を保障する「ものである」。
- ・2つの条例を廃止する案を、一つにしたことはおかしい。

主な賛成意見

- ・「子ども手当」は全額国費でなく、約2,800万円の町費負担が伴うので、財政が圧迫される。
- ・ひとり親世帯等の児童激励金および児童手当の恩恵を受けている対象町民は、国政の「こども手当て」でカバーできると考える。
- ・富士見町の限られた財源を、地域の実情に合った未満時保育の充実に当てることができる。

〈賛成少数で否決〉

■平成21年度補正予算の主な内容

○平成21年度一般会計補正予算(第9号)

歳入歳出それぞれ8,100万円を減額し、予算総額を83億7,649万5千円とするものです。

〈主な歳入〉

普通地方交付税……………1億954万5千円増
道の駅信州蓑木宿等使用料…1,370万円減
子育て応援特別手当交付金事業費補助……………1,440万円減
財政調整基金繰入金……………1億6,177万8千円減

〈主な歳出〉

富士見町土地開発公社支援事業……………1,935万円増
道の駅信州蓑木宿等振興基金費……………1,370万円減
子育て応援特別手当交付金事業……………1,579万円減

〈全員一致で可決〉

○平成21年度富士見町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)

医療費の伸びに伴い、歳入歳出それぞれ7,913万2千円を追加し、予算総額を13億164万2千円とするものです。

〈全員一致で可決〉